

KANSAI

Univ

NEWS



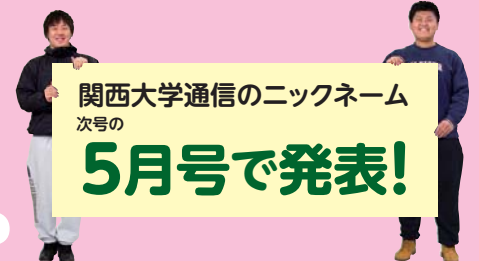
特集

関西大学を使いこなせ!

新生のための
キャンパス早分かりMAP

【VIVA!学び場】
学生提案科目

「みず」から育てる関大ブランド



関西大学通信のニックネーム
次号の

5月号で発表!

みんなで一緒に考えよう。【関大誌上教室】

東日本大震災から1年

～今、私たちにできることは?～

関西大学を使いこなせ! 新入生のためのキャンパス 早分かりMAP



千里山キャンパス

第1学舎: 法学部、文学部、政策創造学部、外国語学部
第2学舎: 経済学部、商学部
第3学舎: 社会学部
第4学舎: システム理工学部、環境都市工学部、化学生命工学部

学生センター(凜風館1F)

HAND BOOK P337~343 P348~352

- 学生生活、課外活動、奨学金などについての各種相談
- ボランティア活動についての各種相談

ポイント
大学での学生生活全般の相談窓口です。入学式終了後に行われる新入生啓発行事にぜひ参加しましょう。

教務センター(第2学舎1号館1F)

HAND BOOK P5

- 履修相談
- 定期試験に関する問い合わせ
- 教職課程履修に関する相談
- 学生証の再発行、証明書の発行

ポイント
大学での履修登録は高校までの履修方法とは大きく異なります。履修ガイダンスなどに参加し、分からないことがあれば教務センターに問い合わせてください。

自習、グループ学習といった目的別の閲覧室も充実!

総合図書館

HAND BOOK P308~313

- 200万冊を超える図書や雑誌の閲覧、貸出、複写
- 各種データベースや電子ジャーナルの利用
- 閲覧室の利用、他キャンパスの資料取り寄せ

ポイント
日本で有数の規模を誇る大学図書館です。ここを利用できるのは関大生の特権。各種図書館ガイダンスを受講して、どんどん活用してください。

キャリアセンター(新関西大学会館北棟3F)

HAND BOOK P355~359

- 就職・進路に関する相談
- 就職情報資料の閲覧
- キャリア形成・就職活動支援行事の開催

ポイント
1年次生の段階から学生一人ひとりの就職・進路について、さまざまなサポートを行っています。キャリアセンター理工系事務室では、理工系3学部・理工学研究科のためのサポートを行っています。

保健管理センター(新関西大学会館北棟4F)

HAND BOOK P326~327

- 定期健康診断(法令により受診が義務付けられています。必ず受診してください)
- 診療(病氣、ケガをしたときは、健康保険証を持参して受診してください)
- 健康診断証明書の発行(当該年度の定期健診の受診が原則)

ポイント
医師や看護師が常駐しています。急な病氣やケガの場合でも、保険証は後日持参すれば大丈夫です。早めに受診しましょう。

KU Wi-Fi(無線LAN)が利用できる場所

第1学舎	1号館食堂 / 4号館2F
第2学舎	1号館1F教務センター / 2号館2F / 4号館2Fリフレッシュコーナー
第3学舎	1号館2F読書室
第4学舎	1号館研究棟1F学習支援室 / 3号館3Fデザインルーム1
総合学生会館 メディアパーク 凜風館1F・2F・4F	
ITセンター4F	
尚文館前芝生広場	

今回の特集ページでは、新入生のために関西大学の4つのキャンパスを紹介します。どこにどんな施設があって何ができるのか。関西大学では、充実した学生生活を送ることができるよう、さまざまなサービスを行っています。この誌面を参考に、一日も早く関西大学を使いこなしてください!

高槻キャンパス

日本の大学で初の通年型国際規格アイスアリーナは有名!

総合情報学部 関西大学アイスアリーナ

セミナーハウス高岳館

スタジオ棟(C棟)
● PC・Mac・Unix教室はオープン利用できます

A棟 管理・研究棟

総合情報学部オフィス(A棟1F)

HAND BOOK 高槻キャンパス版

- 履修相談
- 定期試験に関する問い合わせ
- 教職課程履修や海外留学の相談
- 学生証の再発行、証明書の発行

高槻キャンパス オフィス(A棟1F)

● 学生生活、課外活動、奨学金などについての各種相談

ポイント
A棟1Fに保健室、B棟1Fに高槻図書館(総合図書館の資料も翌日には取り寄せ可能)があります。また、E棟のコミュニティルームで無線LANが利用できます。

キャリアセンター 高槻キャンパス分室(A棟1F)

● 就職・進路に関する相談
● 就職情報資料の閲覧
● キャリア形成・就職活動支援行事の開催

高槻ミュージズキャンパス

社会安全学部

「社会安全」をテーマにした展示物を観覧できる「安全ミュージアム」もあるよ!

西館

キャリアセンター 高槻ミュージズキャンパス分室(西館3F)

● 就職・進路に関する相談
● 就職情報資料の閲覧
● キャリア形成・就職活動支援行事の開催

ミュージズオフィス(西館2F)

● 履修相談
● 定期試験に関する問い合わせ
● 教職課程履修や海外留学の相談
● 学生証の再発行、証明書の発行
● 学生生活、課外活動、奨学金などについての各種相談

HAND BOOK 高槻ミュージズキャンパス版

ポイント
西館1Fにミュージズ大学図書館(総合図書館の資料も翌日には取り寄せ可能)があります。また、自習室、学生控室などで無線LANが利用できます。

エクステンション・リードセンター 高槻ミュージズキャンパス分室(西館3F)

● 各種資格取得に向けた講座の開催
● 公務員試験対策講座の開催
● 就職関連講座の開催

「関西大学通信」は広報課で編集しています!

広報課(関西大学会館1F)

資格取得、国家試験受験対策はこちらへ!

国際部(新関西大学会館南棟3F)

● 留学・国際協力・国際交流に関する相談
● 各種海外派遣プログラム・ガイダンスなどの開催
● 留学・国際協力などに関する資料の配布・閲覧
● 外国人留学生の生活面に関する相談

HAND BOOK P321~323 P364~365

ポイント
国際部内には、日本人学生と外国人留学生が出会える場として交流室が設置されています。外国人留学生による外国語会話交流会なども開かれていますので、ぜひ利用してみてください。

エクステンション・リードセンター(第3学舎3号館2F)

● 各種資格取得に向けた講座の開催
● 国家試験対策講座の開催
● 就職関連講座の開催

ポイント
皆さんのキャリア形成および就職活動支援を目的に各種資格取得、難関国家試験に向けた講座を開講しています。キャリアデザイン実現への第一歩をここから踏み出しましょう。

ITセンター(円神館)

HAND BOOK P314~318

- パソコンでのホームページ閲覧、電子メール利用、レポート作成など
- 作成したレポートなどの印刷
- パソコン活用講習会
- KU Wi-Fi(無線LAN)の利用

ポイント
入学時に配布する「ITセンター活用ガイドブック」をチェックするか、新入生向けガイダンスを受講して、ITセンターを上手に活用してください。

堺キャンパス

人間健康学部

A棟

B棟

体験学習エリア

堺キャンパスオフィス(A棟1F)

● 履修相談
● 定期試験に関する問い合わせ
● 教職課程履修や海外留学の相談
● 学生証の再発行、証明書の発行
● 学生生活、課外活動、奨学金などについての各種相談

HAND BOOK 堺キャンパス版

ポイント
B棟2Fに堺キャンパス図書館(総合図書館の資料も翌日には取り寄せ可能)があります。また、B棟1F食堂で無線LANが利用できます。

「体験学習エリア」はグループ活動を学ぶ堺キャンパスならではのアドベンチャー施設!

キャリアセンター 堺キャンパス分室(A棟2F)

● 就職・進路に関する相談
● 就職情報資料の閲覧
● キャリア形成・就職活動支援行事の開催
※2012年4月現在、キャリアセンターの執務はA棟1Fで行っています。

必携

入学時に配付された「HAND BOOK 大学要覧2012」は、関大生必携の関大マニュアル! 各施設についての詳細や単位・試験、学生生活について掲載されていますので、分からないことがあれば確認してみましょう。また、入学式で配付される各種案内も必ず確認してください。

現地へ行った学生たちに聞きました。

岩手県・宮城県

未来に生かせる記録づくりを

岩手県では河川敷の清掃や被災した小学校の訪問活動を、宮城県では仮設住宅の訪問活動を行いました。ボランティアを通じて被災された人たちの話を聞いていると、これまで当たり前だったことができなくなる大変さを痛感しました。物的支援はもちろん必要ですが、こういった災害についてよく学び、忘れることなく、未来に生かせる記録を残すことが大切だと思います。

E.N.さん 社会安全学部3年次生女子

福島県

まずは偏見をなくすことから

講師の旭堂南陽さんとミュージシャンのイ・ヨンボさん、福島民報社の黒澤一省さんと福島県を慰問し、旭堂さんによる講談活動のお手伝いをしました。福島県内でも、多大な被害を受けたところと、それほどではないところがあり、現状の悩みや不満も地域や人によってさまざまだと感じました。ただ一つ、皆さんが共通して持っていたのは、一部の人の放射能への偏見による心の傷でした。福島県と聞いただけで拒絶反応を起こしてしまう反応は改めるべきだと思います。

M.H.さん 政策創造学部4年次生女子

岩手県・福島県

「忘れない」ことを大切に

岩手県と福島県の大学を訪問し、大学教授や学生の話の伺いました。このときの目的は聞き取りした内容を関西に発信することで、さまざまな意見や情報が得られました。中でも、「大学内の被ばく量をもっと明確化して掲示してほしい」という意見がとても印象に残っています。今は何か小さなことでも良いので自分ができる範囲のことを行うこと。そして被災地のことを忘れないことが大切だと思います。

Y.B.さん 政策創造学部4年次生女子

岩手県

「意識」することから

現地に足を運んでみて必要だと感じたのは、人々の雇用と、次に大きな災害が起こったときの避難場所、そして人と動物が心置きなくつろげる空間です。たとえがれきが撤去され、街の整備が進んだとしても、それだけで被災者の心の傷が癒えるわけではないからです。私たちに今できることは、今も多くの被災者の方々が不安な日々を過ごし、つらい思いをしていることを忘れずにいることだと思います。

S.I.さん 文学部3年次生女子

岩手県

学び、備える

私がボランティアに参加したとき、震災から半年近くが経過していたにもかかわらず、がれきの山がいくつもあり、ペシャーンこにつぶれた車もたくさんありました。海から離れた道からも海が見えるほど何もかもなくなっていて、被害の大きさと復旧・復興への道のりの長さを感じました。私たち大学生に今できることは、今回の災害について勉強し、できる範囲でボランティアに参加して、次の災害に備えることだと思います。

M.N.さん 社会安全学部3年次生女子

岩手県・宮城県

今は現地へ行くより在阪支援を

岩手県の大槌町では菜の花プロジェクトに参加し、宮城県では小学校で大阪弁の授業をさせていただきました。テレビで被災地の情報を見ていたときはあまり実感が湧かなかったのですが、実際に現地に足を運んでみると体の震えが止まらず声も出ませんでした。今は人手が足りないからといって無計画に現地に行くよりも、募金などを通じて間接的に支援するのが良いのではないかと私は感じました。

A.M.さん 社会安全学部2年次生女子

岩手県

現状を知った上での支援を

参加する前は、被災者と直接関わらない活動をしたいと思っていました。私の何げない一言で、被災者を傷つけてしまうのが怖かったからです。現地では仮設住宅でのコミュニティ作りの支援活動に参加したのですが、お年寄りの方のお話をじっくりと聞くだけでもとても喜んでもらえ、話を聞くだけでも力になれるのだと気が付かされました。今、私たちにできることは、被災地の現状を知り、必要があればボランティアに参加すること、東北を旅行することも一つの復興支援だと思います。

A.O.さん 商学部4年次生女子

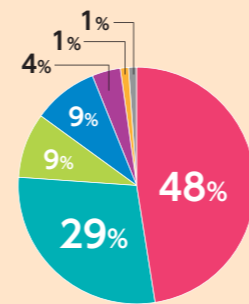
みんなで一緒に考えよう。 関大誌 上教室 東日本大震災から1年 ～今、私たちにできることは？～

【在学生アンケート】

東日本大震災を受けて、
どんな取り組みをしましたか？

募金をした・義援金を送った	63
節電	38
現地以外でのボランティア活動 (チャリティイベントの開催・参加、 募金を集めたなど)	12
特にしていない	12
現地でのボランティア活動	5
現地へ物資を送った	1
その他	1

関大生の回答 (総回答数132、回答者数91人) ※複数回答



【在学生コメント】

- 継続的に交流を持って、続けられる支援が必要だと思う。
- 自分たちに何かができるとは思えない。
- 義援金が被災地に届いているのか不安。
- 物資を直接送るよりも、それをパザーなどで換金して送るべき。
- 原発がなくなる限り、同じことを繰り返すと思う。
- この出来事を風化させないよう、語り継いでいくことが大切。
- 東北のことに加えて、自分たちが暮らす地域社会についても考えるべき。

岩手県

現地へ行き、「心のサポート」を

仮設住宅にある集会所でお茶っこサロンを開き、そこで暮らす人たちのコミュニティ作りを支援する活動を行っていました。被災者の方に、私たちのような学生がボランティアに来てくれるだけでうれしいと言ってもらえたことがすごく心に残っています。比較的長く滞在できる学生だからこそできる現地の方々との関わり方や、心のサポートができるのではないかと今は考えています。

Y.K.さん 商学部4年次生男子

宮城県

現地との「つながり」を作って！

夏休みに1カ月間、宮城県石巻市を訪れました。被災地では、「この震災を、この悲しみを生かして良い街に生まれ変わらせよう」という現地の方々への復興へのパワーを感じました。私は被災地に自ら出向き、つながりを作ることから支援が始まると考えています。私自身も、大阪に帰ってきた今でも石巻で会ったお母さんや子どもたちと連絡を取っていますし、一度つながりが生まれるとその絆は切れることはないと思います。

K.I.さん 商学部4年次生女子

宮城県

コミュニケーションによる心のケア

昨年の8月18日から20日までの3日間、宮城県でボランティア活動に参加し、道路の草刈りや救援物資の積み降ろし、小学校の清掃活動などを行いました。私は心のケアの専門家ではありませんが、コミュニケーションを通じて自分なりに現地の人をほっとさせることができたと感じています。清掃活動といったボランティアもありますが、コミュニケーションを通じて被災地の方々をほっとさせることも、大切なボランティアの一つだと思います。

M.S.さん 社会安全学部3年次生女子

岩手県

「自立した復興」への長期的支援が必要

岩手県で仮設住宅でのコミュニティ形成のためのサロン活動や中学生の学習支援を行いました。これらの活動を通じて、物的支援だけではなく東北の人たちが自立した復興ができるような支援が必要だと感じました。私たち大学生は社会人よりもフットワークが軽いので、できる限り東北を訪れてほしいです。また、実際に足を運ぶことができなくても、東北の製品を買ったり、募金をするといった間接的な支援はできると思います。

T.K.さん 法学部3年次生男子

宮城県

再生に向けた街づくりが必要

宮城県石巻市で泥かき・がれき撤去や仮設住宅で暮らしている方のお話を聞く活動などを行いました。どんな形であれ被災地に関わり続けていくことが重要だと、実際に足を運んでみて感じました。今後は被災地再生に向けて、地場産業再生、雇用創出、事業創出をメインとした街づくりが必要になってきます。被災者の声に耳を傾け、環境に目を向けて、自分にできることは何か、社会ができることは何かを考えることが重要だと思います。

A.S.さん 商学部4年次生男子

岩手県・宮城県

長所を生かして多角的なサポートを

岩手県と宮城県をボランティアで訪れました。現地の状況は悲惨ではありましたが、小学校や公民館など、避難所となる公共施設のほとんどは免震対策が施されていて、津波被害は別としても今回のような大きな地震に耐えることができたというのは、一つ学んだことです。大学生の持ち味は、学ぶ人特有のハングリー精神とフットワークの軽さです。それぞれが長所や持ち味を生かした多角的なボランティア活動を行うべきだと思います。

K.H.さん 社会安全学部3年次生男子



OPINION OF PROFESSOR

社会安全学部 菅磨志保准教授

皆さんの感想を拝見して、あらためて、現地に行くからこそ分かることがあり、またそれを言葉にして伝えることが非常に大切だと感じました。被災者にとって最もつらいことは、自分たちの存在を忘れられてしまうことだと思います。自分の体験や見聞したことを記録しそれを伝えていくことも大切なことです。また、現地での支援活動は、困った人の役に立てる充実感だけでなく、社会を見る目

を養ったり、自分の生き方を探る機会も与えてくれたのではないかと思います。これから被災地は、長期にわたって復興に取り組んでいくことになります。直後のような大量・一方向的な支援は長続きしませんし、また被災地が復興する力を削いでしまう可能性もあります。これからの支援は、相手の状態と自分の持っているものを見極めて、できること、すべきことをしっかり考えて行うことが求められます。近い将来、仕事として被災地の復興や防災に携わる人も出てくるでしょう。そのために今被災地で起こっていることをしっかり見て学んでおくことも、今できることではないかと思っています。

次号のテーマは…「『自立する』ってどういうこと？」

5月号では、5月13日(日)の母の日にちなんで、親から「自立」し、大人になるとはどういうことかを考えます。この機会に、家族の存在と自立について改めて考えてみましょう。乞うご期待ください。



建築業界 / 建築士

Jakob+Macfarlane 祖川健さん

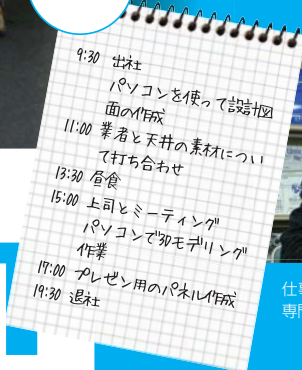
奈良県奈良学園高等学校出身
2008年工学部建築学科卒業



パリの建築事務所で働きながら 刺激的な毎日を送っています。

フランス・パリの建築事務所で働いている祖川健さん。英語とフランス語が飛び交うインターナショナルな環境の中、建築士として建物の設計・デザインや建築に必要な図面の作成、クライアントとの打ち合わせ、工事の管理業務といった仕事に取り組んでいます。「学生のころから将来は海外で働きたいと考えていたので、英語は個人的にずっと勉強していました。おかげで海外で仕事をするのに困らないレベルまではしゃべれるようになりました」。大学卒業後は国内の建築事務所で2年間勤務。その後、夢をかなえるべくフランスに渡ります。しかし、就職については何のつてもなかったようで、パリに来てから地道に就職活動を行った結果、今の事務所に採用されました。「設計の仕事の難しいところは、人によって価値観が違うので正解がないこと。またフランスでは建築物の寿命が長いので、歴史的な背景も考えて設計しなければいけません。ただ、海外で働くのは新たな気付きや発見の連続でとても刺激的ですよ」。日本の良い面、悪い面に改めて気付かされるのも、海外で働くことのメリットだと祖川さんは言います。「海外で働くことも視野に入ると、進路選択の幅が広がります。英語さえしっかり勉強しておけば、どこの国に行っても働けるとおもいますよ。この世界には多様な価値観があり、海外では日本の常識も通じないこともあります。これから社会に飛び立つ人々にはこれまでの常識にとらわれることなく、さまざまなことに積極的にチャレンジしてほしいですね」。

ある1日の
スケジュール



仕事に使用するアイテム。特にフランス語で書かれた建築の教科書は、専門用語を勉強する際には欠かせないといいます。

祖川さんが働いている建築事務所が手がけた
パリ・セーヌ川沿いの建築物「les docks」。

ARCHITECT

じゃがいもから新たな関大ブランドを育む。

学生の企画・立案による学生提案科目。2012年度はじゃがいもを栽培して関大ブランドを育てるという新たな試みの科目がスタートします。

2011年度からスタートした学生提案科目。これは公募により各学部・学年から集まった科目提案学生委員会の企画・立案による全学共通科目です。初年度には、「それいけ関大生～共に生きる4つの力～」と「プロフェッショナルのまなざし～マナビをマナブ。～」の2科目が開講されました。この4月からは、2年目となる「プロフェッショナルのまなざし～マナビをマナブ。～」に、「みず」から育てる関大ブランド」という新たな科目が加わり、2科目が開講されています。

「みず」から育てる関大ブランド」は、グループで野菜（じゃがいも）を栽培し、自らが育てた野菜を用いて関大名物となるようなブランドの立案を行うという幅広い知識を学ぶことができる科目です。講義では実際の農作業に加えて、農業問題や食の問題、ブランディングについてなど、さまざまな分野について、まず講義で商品のバックボーンに触れた後、講義で学んだことをグループでディスカッションして深めながら、ブランド戦略を考えていきます。

10人程度の学生で構成される科目提案学生委員会では、まず学生たちがどのような講義を求めているのか学内アンケートを行います。それをもとにいくつかの科目案を考え、学生提案科目として開講を目指す科目を決めるため、議論を重ねていきます。提案する科目が決まると、どのような講義を行うのか、どの先生に講義をしてもらうのか、さらには講義をお願いする先生との交渉なども、学生が全て行います。こうして科目づくりの裏側を知ったことで、委員の学生たちは普通の講義を受ける姿勢や意識が変わるなど、貴重な経験ができて良かったと口々に話します。

学生委員による会議風景



津地孝紀 さん(2012年法学部卒業)

後輩たちに何かを残したいという気持ちから科目提案学生委員会に参加しました。いろいろな学部・学年の学生とグループワークできたことはとても良い経験になったと思います。

中野陽香 さん(商学部2年次生)

何かを一から育てるということに興味がある人は、ぜひ「みず」から育てる関大ブランド」を受講してほしいですね。貴重な経験ができると思いますよ。



教育推進部
須長一幸 准教授

委員会に参加している学生たちは、みんな高いモチベーションを持って主体的に取り組んでいます。科目づくりを経験することで、他の授業でも積極的に発言するようになるなど、ポジティブな連鎖が生まれているようです。



「関大とお笑い」の歴史をひもといてみよう!

笑いの本場・大阪の文化と風土の中で歴史を重ねてきた関西大学。大学とお笑い、一見すると無関係な2つの世界ですが、関西大学においては実はとても縁が深く、文化会落語大学出身の桂三枝さんをはじめ、右の方々以外にも数多くの卒業生が、漫才師や落語家、タレントとして活躍しています。また、放送作家や構成作家、テレビ局のディレクターなど、裏方としてお笑いの世界を支えている人も多く、吉本興業株式会社代表取締役会長・吉野伊佐男さん、代表取締役社長・大崎洋さんも関大の卒業生なのです。最近では、堺市と関西大学の地域連携事業として「笑いの総合科学」と題した市民講座を開催。「笑いながら笑いについてまじめに考える」という関大ならではの視点でお笑いを捉えた新たな取り組みも行われています。

関大で教鞭を執った落語家の先生たち

文学部には、芸能のはじまり、能・狂言、歌舞伎・文楽、話芸、芸事など、日本の伝統芸能の歴史について、映像や実演を交えて魅力を体験するための選択科目の授業があります。

年度	担当	科目名
1988	桂文珍先生	国文学史特殊講義 桂文珍さんは、本名の「西田勤」として授業を担当
1989		国文学特殊講義 桂文珍さんは、本名の「西田勤」として授業を担当
1997 1998		日本伝統芸能史 桂文珍さんは、芸名で授業を担当
2001 2002 2003	林家染丸先生	日本伝統芸能史a 日本伝統芸能史b
2007 2008 2009 2010		笑福亭仁智先生
		連携講座(伝統芸能1) 連携講座(伝統芸能2)

関大出身の落語家・お笑い芸人

 <p>桂三枝さん 7月に「6代 桂文枝」を襲名 【ジャンル】落語家 【出身学部】商学部</p>	 <p>平畠啓史さん 【ジャンル】タレント 【出身学部】経済学部 1992年卒業</p>	 <p>桂三金さん 【ジャンル】落語家 【出身学部】社会学部 1993年卒業</p>
 <p>岩尾望さん 【コンビ名】フットボールアワー 【出身学部】社会学部 1998年卒業</p>	 <p>安田善紀さん 【コンビ名】りあるキッズ 【出身学部】社会学部 2010年卒業</p>	 <p>山里亮太さん 【コンビ名】南海キャンディーズ 【出身学部】文学部 2001年卒業</p>
 <p>後藤淳平さん 【出身学部】経済学部 2006年卒業</p>	 <p>福德秀介さん 【コンビ名】ジャルジャル 【出身学部】文学部 2006年卒業</p>	 <p>四条和也さん 【コンビ名】学天即 【出身学部】社会学部 2004年卒業</p>

写真提供:株式会社よしもとクリエイティブ・エージェンシー

◆ 現在、授業をご担当されている 笑福亭仁智 先生にインタビュー

授業の様子



Q1. 関大で教鞭を執るきっかけは?

林家染丸先生からのご紹介がきっかけです。当初は大先輩の後を引き受けることに恐縮しましたが、学生に教えることが自分の勉強にもなると考えて引き受けました。

Q2. 連携講座(伝統芸能)はどんな授業ですか?

春学期は日本の伝統芸能の歴史について、映像や実演を交えてその魅力を体験します。秋学期は、さまざまな角度から笑いにスポットを当て、笑いの創造のきっかけになるような講義ができればと考えています。

Q3. 関大生に対してどんな印象を持っていますか?

学生の皆さんは、真面目でおとなしい人が多いですね。勉強と遊び、オンとオフを切り替えて学生生活を楽しんでいるのは素晴らしいことだと思います。



人間健康学部
森下伸也 教授

笑い学のメッカ 関大の進撃

関大は笑いの研究で日本の先頭を走っている。基礎を築いたのは社会学部と総合情報学部で教鞭をとった井上宏名誉教授。笑い学に関する数多くの著作で知られ、関大を根拠に日本笑い学会を創設、初代会長として学会を長年けん引し、2000年には国際ユーモア学会を関大に招致した。それを爆発的に発展させたのが、惜しくも2009年に逝去した社会学部の故・木村洋二名誉教授。ユーモア・サイエンス学会、吉本興業寄付講座「笑いの総合科学」、関大笑い講、関大ふくい笑い講など、故・木村教授の創始によるものは枚挙にいとまがないが、断然愉快で画期的なのは横隔膜式「笑い測定機」(DLMまたはアッハ計)で、このユニークな発明はイグノー

ベル賞候補にもなった。志半ばで倒れた恩師の遺志を継承すべく、弟子たちは「プロジェクトaH(アッハ)」なるNPO法人を結成し、日本笑い学会2代会長である私の指導のもと、人間健康学部のユーモア科学実験室を根拠地として、アッハ計進化のための研究開発にあたっている。錠剤サイズの「アッハ計」[「ワラオッチ」]を世界に先駆けて発売し、大ヒットで得た莫大な利益を関大に全額寄付したいという彼らの夢がかなう日は、近い将来きっと来るであろうか?



故・木村洋二名誉教授と「笑い測定機」



文学部4年次生

鈴江祐果さん

阿波おどりで生まれた人の輪を大切に。



阿波おどり関西大学連

今年で設立60年を迎える歴史ある団体で、現在はOB・OGも合わせて約50人が参加しています。数年前までは徳島県出身の関大生しか入ることができませんでしたが、今では徳島県と阿波おどりを愛する気持ちがあれば誰でも参加できるということ。阿波おどりを踊ってみたいという方は、下記ウェブサイトよりお問い合わせください。
<http://awaodori-kandairen.jimdo.com/> (携帯電話でのアクセス可)

「踊る阿呆に見る阿呆、同じ阿呆なら踊らにゃそんそん」のお囃子で知られる阿波おどりは、毎年130万人以上の人々を集める徳島県の夏の風物詩。その本場徳島の阿波おどりに毎年参加している団体が阿波おどり関西大学連(関大連)です。連とは踊り子グループのことで、関大連は60年前に結成されて以来、参加し続けているといいます。そんな歴史と伝統ある団体の連長を務めている鈴江祐果さん。連長に就任した2年次生のころは、参加する学生が少なく、その存続さえも危ぶまれるような状態だったそうです。そこで関大連の存在を広く知ってもらうために、学生センターにポスターを掲出させてもらったり、徳島県出身の新入生に案内状を送ったり、フェイスブックやミクシィなどのSNSを使って参加を呼びかけるなど、積極的に広報活動を行いました。その成果もあって現在では、学生とOB・OGを合わせて50人ほどのメンバーが集まったといいます。

関大連にはOB・OGの方々も数多く参加しており、鈴江さんのお父さんも実はその一人。

関大連の歴史でも初めての親子共演も果たしました。「昔からお父さんの阿波おどりと

関大連への熱い思いを聞かされてきました。今こうして私が連長をしているのも、

父の影響が大きいと思います」。

現在、関大連の活動と並行して、徳島県が主催する阿波おどり練習会にも参加しているという鈴江さん。「関大連や徳島県人会に参加することで、たくさんの先輩方と出会えたことがうれしかったですね。阿波おどりを通じて生まれた人とのつながりをこれからも大切にしていきたいです」と語ってくれました。

次号では、鈴江さんからのご紹介でYouth for 3.11で活躍している井口拓斗さん(情4)が登場。お楽しみに!

Yuka Suzue

学部・研究科トピックス

法学部 / 法学研究科

法学部学術講演会を開催

法学部では、年度の始めに学部案内、履修ガイダンス・履修相談などを含む新入生指導行事が開催されています。その一環の新入生歓迎特別行事として例年行われているのが、法学部学術講演会です。今回は、札幌、名古屋、大阪の元・高検検事長で弁護士の中尾巧氏(弁護士法人淀屋橋・山上合同)を講師にお招きしてご講演いただきます。社会の第一線で活躍される講師のお話を聴いて、新入生の皆さんが新たな気持ちで勉学に励まれることを期待しています。

(教学主任 廣川嘉裕准教授)

文学部 / 文学研究科 東アジア文化研究科

日中韓次世代フォーラムを開催

2012年2月25日・26日、東アジア文化研究科では、中国・北京外国語大学(10人)、韓国・嶺南大学校(12人)の大学院生を招いて、日中間次世代フォーラムを開催しました。初日午前中の研究科開設記念シンポジウムに続き、本学10人の大学院生も含めて30件の研究発表を行いました。

(副研究科長 藤田高夫教授)



経済学部 / 経済学研究科

大学院社会人向け基礎科目を新設

経済学研究科においては、まず経済学の基礎的な学習を行って、研究基盤を着実に用意することを最も重視しています。しかし、社会人入試の入学生は、ミクロ経済学、マクロ経済学の基礎知識が不足していることが多いのが現状です。そこで、2012年度から、社会人向けの基礎科目を新設することにしました。当該科目では、経済学の再入門に加えて、資料収集、実証分析、論文執筆といった研究方法について指導する予定です。

(副学部長 橋本恭之教授)

政策創造学部 / ガバナンス研究科

学生発案の減災まちづくり

政策創造学部は、社会を切り拓く政策形成力を持った人材育成を目指しています。やる気次第で学生は、さまざまなことにチャレンジする機会があります。2011年10月に「減災まちづくりの政策形成とその実現に向けて」をテーマに開かれた「公共政策フォーラムin藤沢」では、本学部学生自ら考えた政策が藤沢市消防長賞を受賞しました。学生たちはそれだけにとどまらず、コミュニティFM「FM千里」の協力を得て、本学放送研究会と一緒に防災や減災をテーマにした番組制作に取り組んでいます。

外国語学部 / 外国語教育学研究科

外国語スキル+αを目指して

1年間のStudy Abroadは外国語スキルの向上にとって非常に有意義であったはずですが、それは、TOEFL®、TOEIC®、英検、中検などの語学力測定値に反映されているでしょう。しかし、大切なのはここからです。外国語学部生に期待されているのは、外国語力を生かしてどのように社会(ビジネス・教育・研究・その他)に貢献するのか、ということです。そのことをじっくりと考える機会として、学部主催の「キャリアガイダンス」を、ほぼ毎月1回開催しています。できる限り参加してください!

(外国語学部キャリア委員長 加藤雅人教授)

人間健康学部

東西いのちの文化フォーラム

堺市と関西大学との地域連携事業の一環として、10月から2月にかけて「東西いのちの文化フォーラム」を堺キャンパスで開催しました。東洋と西洋のいろいろな心身技法の第一人者を招き、自分の身のあり方を知る具体的な方法を体験的に紹介しました。

(学部学生相談主事 三浦敏弘教授)



システム理工学部・環境都市工学部・化学生命工学部 / 理工学研究科

ご入学おめでとうございます。

現代の社会は、さまざまなシステムによって支えられています。今、まさに、それらが問われています。システム理工学部では、科学技術システムにおける高度で安全な「しくみ」や「しかけ」について学びます。科学的な真理を探索しようとする姿勢を身に付けることも重要です。数学科、物理・応用物理学科、機械工学科あるいは電気電子情報工学科での勉学を通して、自分の可能性を見つめ、社会に役立つ、新たな「しくみ」作りに挑戦してください。

(システム理工学部 学部長 前田裕教授)

本学部の3学科は「まちづくり」の創造・再生を担う若人の育成を目指しています。私たちは世界中でも極めて厳しい国土、資源そして天災の環境の下で生活をしています。しかし、四季という素晴らしい自然に浴しています。5つの感性を駆使して、社会人にふさわしい教養を身に付けてほしいものです。それには心身ともに健全であることが必須です。新学年を迎えるにあたり、まず規則正しい日常生活を設計し、キャンパスライフを満喫することを願っています。

(環境都市工学部 学部長 小田廣和教授)

化学生命工学部の2学科は、ナノテクノロジー、バイオテクノロジー、新素材、エネルギー、環境、医療をはじめとした幅広い分野の「ものづくり」に対応できる研究者・技術者の育成を目指しています。そのためには、専門分野のみならず数学、物理学をはじめとした科学・技術を支える基礎学力の涵養が必要です。皆さんの奮起を期待します。

(化学生命工学部 学部長 田村裕教授)

各学部・研究科のさまざまな活動や取り組みなど、トピックスや皆さんへのメッセージをお届けします。

商学部 / 商学研究科

プロジェクト型学習・研究の推進

一振動で作り出される電気の利用—商学部の3年次専門演習・BLSPの3クラスでは、大阪市のロボットラボラトリーのコーディネートのもと、東リ株式会社との共同プロジェクトを4月よりスタートさせます。内装材のトップメーカーである東リ(株)が販売する「発電床®」は、外部電源を使うことなく、振動のみで発電するという魅力的な機能を持ちます。商学部の学生が、この床材の新しい用途を顧客の視点から考えるとともに、その実現性等の評価を行った上で提案するという実践的な産学連携プロジェクトです。

(学部学生相談主事 荒木孝治教授)

社会学部 / 社会学研究科

背伸びをして大人を目指そう!

社会学部へ入学された新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。今、どんな気持ちで新しい大学生活に向かおうとしていますか。大学の4年間をどう使うかによって人生は大きく変わると言っても過言ではありません。自分のできることをするのではなく、苦しいこと、やったことのないことにも挑戦して、失敗を繰り返しながらも成長していきましょう。そういう4年間を過ごしたなら、きっと社会人になったときに、即戦力として高く評価される人間になっていることでしょう。

(学部長 片桐新自教授)

総合情報学部 / 総合情報学研究科

バス乗車はマナーを守って、快適に。

あなたの大きな話し声が誰かの迷惑になっていませんか。授業が終わった開放感などから、友達とおしゃべりに夢中になるというのは誰にでもあることです。しかし、総合情報学部生が通学に利用している高槻市営バスは、市民も乗車する公共の乗り物です。皆さんは関西大学の学生であると同時に、地域社会の一員でもあります。一人ひとりが、このことを意識して、バスを利用してください。ちょっとした思いやりの心で快適な通学時間となることでしょう。

社会安全学部 / 社会安全研究科

「社会安全体験実習Ⅱ」実施

2月21日から、社会安全学部2年次生全員がクレフィール湖東・交通安全研修所にて1泊2日の社会安全体験実習に参加しました。実習内容は、自動車運転のメカニズムの反応検査体験などで、人間の認知、判断、操作の特性や限界がどのようなものかを実際に自動車を運転して学習しました。



専門職大学院トピックス

臨床心理専門職大学院

第1回 関西大学臨床心理士合格者祝賀会を開催

1月28日に平成23年度臨床心理士資格認定試験の合格者祝賀会を開催しました。祝賀会には合格者をはじめ、来賓、教職員、関西大学臨床心理士会関係者など多数の参加があり、学長や理事長をはじめ多くの方々からご祝辞を頂戴し、和やかな雰囲気の中で終了しました。今年度は、本専門職大学院の第1期生が受験し、30人が合格し、合格率は96.8%で、全国平均60.6%の合格率に比して極めて優秀な成績を収めました。合格者の皆さんの今後の活躍と、今年度修了した第2期生のご健闘を祈念します。なお、文学部・社会学部で行われている本大学院との連携カリキュラムのうち、社会学部のカリキュラムをより専門性の高い「臨床心理実践プログラム」にリニューアルし、学部との連携教育の発展・充実を図る予定です。

併設校トピックス

関西大学初等部

関大初等部 思考力育成法が書籍化

関西大学初等部では、「思考力の育成」を教育の最重要課題に据え、積極的に社会の問題を追究し、解決するために行動を起こす子どもの育成を目指しています。そのために、「考えることを考える」学習、知識を活用するための「思考スキル」を習得する学習を「ミューズ学習」と名付け、全ての教科学習などの思考力育成の軸としてきました。2月4日に開催した研究発表会では、初等部が取り組む思考力育成のカリキュラム提案として、『関大初等部式思考力育成法-めざせ!考える達人』を発行し、全国に向け発信を行いました。



Attention 大学からの重要なお知らせ

学生生活の心得『かんだいLIFE』は読みましたか?

入学式で配布する『かんだいLIFE』には、学生の皆さんが快適なキャンパスライフを送ることができるよう、以下の通り、さまざまな視点からアドバイスが掲載されています。『かんだいLIFE』を読み、トラブルや事故を未然に防ぎましょう。また、万が一トラブルに遭遇した場合は、一人で悩まずに学内外の相談窓口を訪ねてください。

- 各種証明書、学生証、インフォメーションシステム、授業時間
- 課外活動について
- ボランティアセンターで新しいこと始めてみませんか?
- さまざまな「学び」を提供—正課外教育プログラム—
- ひとりで悩んでいませんか?—学内の相談窓口—
- 学生教育研究災害傷害保険について
- アルバイトを探したい
- キャンパスの交通問題
- マナー・モラルの向上に努めよう
- イッキ飲みは怖い残す!
- タバコのリスク
- 薬物乱用は「ダメ。ゼッタイ。」
- 性感感染症
- AED(自動体外式除細動器)
- 海外へ行くときの健康知識
- 近隣の医療機関
- 悪質商法に気をつけて!
- カルト団体に注意
- 火災・地震の際の行動

各キャンパス窓口でも配布していますので、ぜひ手に取ってください。



新 2012年度 新任教員紹介

2012年4月から、関西大学の専任教職員となった35人のプロフィール紹介と皆さんへのメッセージを掲載します。

法学部



アラキ オサム
荒木 修 准教授
専門分野/行政法学

【趣味・特技など】
読書、散歩
【学生に向けたメッセージ】
「自由」に物事を考えることが
大学での学びの特徴です。



イケダ シンタロウ
池田 慎太郎 准教授
専門分野/戦後日本政治外交史

【趣味・特技など】
読書、旅行、街歩き
【学生に向けたメッセージ】
初めての関西暮らしです。
よろしくお願ひします。

文学部



アンドウ テルツグ
安藤 輝次 教授
専門分野/質の評価(ポトフォリオと
ルーブリック)、学校ケースメソッド

【趣味・特技など】
トレッキング、家庭菜園
【学生に向けたメッセージ】
辛抱強さ、創意工夫、ビジョン
を大切に!



セキ ハジメ
関 肇 教授
専門分野/日本近現代文学

【趣味・特技など】
映画鑑賞、温泉めぐり
【学生に向けたメッセージ】
何事にも積極的に挑戦して
ほしいと思います。



シノハラ ヒロカズ
篠原 啓方 准教授
専門分野/朝鮮古代・中世史

【趣味・特技など】
料理、旅行
【学生に向けたメッセージ】
アジアとは何か、人とは何か。
一緒に考えていきましょう。

文学部



タカハシ ミホ
高橋 美帆 准教授
専門分野/英米文学(19世紀
以降の詩文学研究)

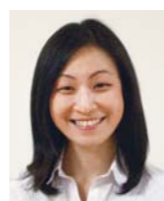
【趣味・特技など】
サキソフォーン演奏
【学生に向けたメッセージ】
学生時代にできるだけ多くの
良書を読みましょ。



ワカツキ ケン
若槻 健 准教授
専門分野/市民性教育、人権
総合学習

【趣味・特技など】
サッカーをすること、観ること
【学生に向けたメッセージ】
気軽に声をかけてください。
共に学びましょ。

経済学部



コノエ サラ
神江 沙蘭 准教授
専門分野/国際政治経済、EU
経済

【趣味・特技など】
ピアノ、観劇、美術鑑賞
【学生に向けたメッセージ】
グローバル化する世界での制度
作りについて考えてましょ。

経済学部



サトウ マサノブ
佐藤 方宣 准教授
専門分野/経済思想史

【趣味・特技など】
読書、散歩
【学生に向けたメッセージ】
関西に住むのは初めて。
いろいろ教えてください。

商学部



オイカワ ヒロシ
小井川 広志 教授
専門分野/発展途上国の企業家
精神に関する研究

【趣味・特技など】
テニス、コンサート参観
【学生に向けたメッセージ】
大学生生活は人生で最も成長
できる4年間です。



フジオカ リカ
藤岡 里圭 教授
専門分野/商業論

【趣味・特技など】
ヨガ、ピラティス
【学生に向けたメッセージ】
自分の人生を楽しんでください。

商学部



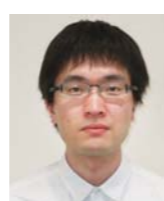
ツジミ エリ
辻 美枝 准教授
専門分野/租税法、国際租税法

【趣味・特技など】
ゴルフ、税理士、CFP®、1級ファイ
ナンシャル・プランニング技能士
【学生に向けたメッセージ】
今しかできないことに挑戦
しましょ。



タカイ ケイジ
高井 啓二 助教
専門分野/消費者行動論、データ
科学

【趣味・特技など】
映画鑑賞
【学生に向けたメッセージ】
大学生の間にいろいろなこと
に挑戦してください。



ミヤザキ ケイ
宮崎 慧 助教
専門分野/マーケティング・サイ
エンス

【趣味・特技など】
ジャズベース演奏、音楽鑑賞
【学生に向けたメッセージ】
皆さんと共に成長していきたいと思
います。よろしくお願ひいたします。

社会学部



キタムラ ヒロヤ
北村 英哉 教授
専門分野/対人心理学、社会心
理学

【趣味・特技など】
天体観望、読書、映画鑑賞
【学生に向けたメッセージ】
学問に対して驚きと好奇心を。



ミウラ フミオ
三浦 文夫 教授
専門分野/メディア、コンテンツ
プラットフォーム

【趣味・特技など】
音楽制作、ガーデニング
【学生に向けたメッセージ】
興味のあることを深く掘り
下げてみてください。



ヤスダ トキオ
保田 時男 准教授
専門分野/計量社会学

【趣味・特技など】
ボードゲーム、統計学
【学生に向けたメッセージ】
データから未知の社会を
「発見」しましょ。

社会学部



スギモト マイ
杉本 舞 助教
専門分野/科学史・技術史

【趣味・特技など】
楽器演奏、能楽
【学生に向けたメッセージ】
面白そうなことには何でも
挑戦しましょ。

政策創造学部



ハツミ ケンタロウ
初見 健太郎 准教授
専門分野/ゲーム理論

【趣味・特技など】
水泳
【学生に向けたメッセージ】
やりたいことがあるならぜひ
やってください。

外国語学部



モリサキ セイジ
守崎 誠一 教授
専門分野/異文化間コミュニ
ケーション学

【趣味・特技など】
イクメンに励み中
【学生に向けたメッセージ】
少し背伸びをして、たくさん
のことにチャレンジを!

外国語学部



ヤマシタ ヒロキ
山西 博之 准教授
専門分野/英語教育学

【趣味・特技など】
ドライブ旅行、写真撮影
【学生に向けたメッセージ】
少しずつ着実に努力を重ねて
いきましょ。

人間健康学部



カワバタ タカシ
河端 隆志 教授
専門分野/運動・環境生理学

【趣味・特技など】
サッカーをこよなく愛しています。
【学生に向けたメッセージ】
「相手のところが解る心」を養
いましょ。



ヤマガタ フミハル
山縣 文治 教授
専門分野/子ども家庭福祉

【趣味・特技など】
町中散歩
【学生に向けたメッセージ】
他人と折り合いをつけながら
生きる力を身に付けましょ。

総合情報学部



ウエハラ リョウ
植原 亮 准教授
専門分野/哲学・科学倫理学

【趣味・特技など】
映画鑑賞、ゲーム
【学生に向けたメッセージ】
自分が動ける可能性の空間を
広げましょ。



オオホリ シュウイチ
大堀 秀一 准教授
専門分野/環境経済学、産業組
織論

【趣味・特技など】
映画鑑賞
【学生に向けたメッセージ】
興味のあることには積極的に
接してほいです。



タカガシ シゲアキ
田頭 茂明 准教授
専門分野/モバイルコンピュー
ティング

【趣味・特技など】
計算機を使ったもの作り
【学生に向けたメッセージ】
厳しい世の中ですが、お互い
頑張りましょ。

総合情報学部



トギヤマ ノリオ
研谷 紀夫 准教授
専門分野/文化資源情報学

【趣味・特技など】
自転車による街めぐり
【学生に向けたメッセージ】
いつも「今、自分に正直か?」と
問いかけることを、大切にし
てください。



ナガイ ヒデオ
長井 英生 教授
専門分野/確率論

【趣味・特技など】
歴史・地理探索
【学生に向けたメッセージ】
在学中に生涯の目標となる
テーマを見つけましょ。



フジオカ アツシ
藤岡 敦 教授
専門分野/微分幾何学

【趣味・特技など】
食べ歩きや乗り鉄
【学生に向けたメッセージ】
どうせやるなら楽しくやりま
しょ。

システム理工学部



コガネザワ シンジ
小沢 新治 准教授
専門分野/メカトロニクス、アク
チュエータと制御

【趣味・特技など】
ジョギング、音楽鑑賞
【学生に向けたメッセージ】
何か一つに打ち込む4年間に
してください。



ヒロオカ ダイスク
廣岡 大祐 助教
専門分野/アクチュエータ工学

【趣味・特技など】
スポーツ観戦
【学生に向けたメッセージ】
お互いに成長できるように頑
張りましょ。

システム理工学部



カワムラ アキフミ
河村 暁文 助教
専門分野/高分子化学・バイオ
マテリアル

【趣味・特技など】
音楽鑑賞と演奏
【学生に向けたメッセージ】
グローバルな視点を持って、いろ
んなことにチャレンジしてください。

法科大学院(法務研究科)



ムラカミ ユキタカ
村上 幸隆 教授
専門分野/国際取引法・中国法

【趣味・特技など】
クラシック音楽、NFL
【学生に向けたメッセージ】
国際化の現実を見据えて勉強
してください。



マツモト テツオウ
松本 哲弘 教授
専門分野/民事訴訟法・民法

【趣味・特技など】
カメラ
【学生に向けたメッセージ】
何事にも目的意識を持って
ください。

2012年度 客員教授紹介

関西大学では、学術研究および教育水準の向上を図るために、教育・研究に関して特に優れた学識経験のある方や、各界で特に優れた知識・経験および高度の実務能力を有している方を客員教授として招聘しています。

会田 弘継 共同通信社 編集委員室長	坂部 行雄 東京工業大学大学院 特任教授	馬場 則夫 大阪教育大学 教授
Anthony Di Benedetto Professor Temple University	佐藤 健宗 佐藤健宗法律事務所	早瀬 昇 社会福祉法人大阪ボランティア協会 常務理事
井関 正裕 共栄法律事務所 弁護士	角 和夫 阪急阪神ホールディングス株式会社 代表取締役社長	平尾 誠二 神戸製鋼コベルコスチーラーズ総監督・ゼネラルマネージャー
市村 元 元 株式会社テレビユー福島 常務取締役	高橋 英行 元 日本銀行 神戸支店長	福田 尚司 大阪高等検察庁 検事、 神戸大学大学院法学研究科 教授
伊藤 進一郎 プロティビティLLC 最高顧問 住友電気工業株式会社 元 副社長	竹中 ナミ 社会福祉法人プロップ・ステーション 理事長	藤沼 垂起 中央大学大学院 特任教授、日本公認会計士協会 理事
伊藤 達也 PHP総合研究所 コンサルティング・フェロー 元 金融担当大臣	竹中 平蔵 慶應義塾大学 教授	Mark Edward Parry Professor University of Missouri - Kansas City
猪口 邦子 参議院議員、元 内閣府特命担当大臣	田島 俊 株式会社毎日放送 メディア総括	松岡 葉子 オフィス・ヴァリス 代表取締役
太田 房江 元 大阪府知事	田中 俊郎 慶應義塾大学 名誉教授	水谷 修 水谷青少年問題研究所
大武 健一郎 大塚ホールディングス株式会社 代表取締役副会長 TKC全国会 会長	谷 雅徳 <越前屋俵太> ユニバーサル・マーケティング・ デザイン社 代表取締役	宮口 定雄 宮口定雄税理士事務所 所長
大塚 義孝 財団法人日本臨床心理士資格認定協会 専務理事	辻本 一義 辻本法律特許事務所 会長	村山 正治 九州大学 名誉教授
大棟 耕介 NPO法人日本ホスピタル・クラウン協会 理事長	津山 直子 動く→動かす (GCAPJAPAN) 代表 NPO法人アフリカ日本協議会 理事	柳田 邦男 ノンフィクション作家
奥 正之 株式会社三井住友フィナンシャルグループ 取締役会長	富田 雄二 吹田市副市長	山崎 登 NHK 解説副委員長
梶谷 健二 前 大阪府臨床心理士会 会長	中井 吉英 関西医科大学 名誉教授、日本心療内科学会 理事長	山本 高史 株式会社コトバ 代表取締役
梶本 徳彦 社会福祉法人大阪府社会福祉協議会 会長	中多 広志 吉本興業株式会社 取締役	山本 雅弘 株式会社毎日放送 相談役最高顧問
柏木 孝 元 大阪市副市長	永久 寿夫 株式会社PHP総合研究所 代表取締役専務	湯川 豊 京都造形芸術大学 教授
Gabriele Kasper ハワイ大学 教授	鳴海 邦碩 大阪大学 名誉教授	楊 華 中国 中央财经大学 副教授
河村 静也 <桂 三枝> 公益社団法人上の方落語協会 会長	西堀 利 株式会社みずほ銀行 前 頭取	吉田 享司 公認会計士、あずさ監査法人 専務理事・大阪事務所長
権 哲賢 韓国 世宗財団 理事長	西村 嘉郎 朝日放送株式会社 特別顧問	Roderick James Ellis オークランド大学 教授
近藤 良平 舞台俳優、舞踏家	布村 明彦 財団法人河川情報センター 研究顧問	脇田 良一 名古屋経済大学大学院 教授 公認会計士・監査審査会 前 常勤委員
崔 洋一 映画監督	萩尾 千里 株式会社大阪国際会議場 取締役社長	
榊 智隆 会計検査院 事務総長官房上席企画調査官付 検査情報分析官	八田 進二 青山学院大学大学院 教授、会計大学院協会 理事長	

※授業科目や講演会の日程など詳細は、インフォメーションシステムで確認してください。

2012年度 学年暦

2012年度の学年暦は以下の通りです。試験期間や休業期間など年間スケジュールを把握し、計画的に学生生活を送ってください。

月	学部	大学院	専門職大学院
4月	学年始 春学期開始(1日) / 入学式(1日) / 新入生指導行事(1~3日) / 春学期授業開始(4日)	学年始 春学期開始(1日) / 入学式(2日) / 新入生指導行事・オリエンテーション(2~3日) / 春学期授業開始(4日)	
6月	大学昇格記念日(5日) ※休業日		
7月	春学期授業終了(24日) / 春学期試験(25~31日)	春学期授業終了(24日) / 春学期試験(30日)	春学期授業終了(18日) <法務> / 春学期試験(19~31日) <法務> / 春学期授業終了(30日) <臨床心理> / 春学期試験(31~8月2日) <臨床心理> / 春学期授業終了(27日) <会計> / 夏季休業(28日~9月20日) <会計>
8月	夏季休業(3日~9月20日)		夏季休業(1日~9月20日) <法務> / 夏季休業(3日~9月20日) <臨床心理>
9月	春学期成績発表 / 春学期卒業式(18日) / 秋学期入学式(総合情報学部)(18日) / 新入生指導行事(総合情報学部)(18~19日) / 秋学期授業開始(21日)	春学期成績発表 / 学位(修士・博士)記授与式(18日) / 秋学期入学式(文学研究科・理工学研究科・東アジア文化研究科)(18日) / オリエンテーション(文学研究科・理工学研究科・東アジア文化研究科)(18~19日) / 秋学期開始 秋学期授業開始(21日)	春学期成績発表 / 学位記(9月期)授与式(18日) / 春学期終了(20日) / 秋学期開始 秋学期授業開始(21日)
11月	大学創立記念日(4日) ※休業日		
12月	冬季休業(26日~1月6日)		
1月	授業再開(7日) / 秋学期授業終了(23日) / 秋学期試験(24~31日)	授業再開(7日) / 秋学期授業終了(23日) / 秋学期試験(30日)	授業再開(7日) / 秋学期授業終了(16日) <法務> / 秋学期試験(17~30日) <法務> / 秋学期授業終了(28日) <臨床心理> / 秋学期試験(29~31日) <臨床心理> / 秋学期授業終了(30日) <会計> / 秋学期試験(30日) <会計>
2月	入学試験(1~8日予定)		
3月	入学試験(3~4日予定)		
3月	卒業成績発表 / 卒業式(19日) / 在学生成績発表 / 在学生履修届受付 / 春季休業(21~31日) / 学年終 秋学期終了(31日)	学位(修士・博士)記授与式(21日) / 在学生成績発表 / 在学生履修届受付 / 春季休業(24~31日) / 学年終 秋学期終了(31日)	専門職学位課程修了者発表 / 在学生成績発表 / 在学生履修届受付 / 学位記(法務博士・会計修士・臨床心理修士)授与式(21日) / 春季休業(24~31日) / 学年終 秋学期終了(31日)

※詳細はインフォメーションシステムで確認してください。



新入生歓迎特別行事を開催



関西大学では新入生を対象にオリエンテーション期間を設け、ガイダンスやサポート、講演会など、さまざまな歓迎行事を準備しています。各学部が準備した催しを紹介しますので、積極的に参加してください。

法学部

法学部新入生におくる言葉

【日時】4月1日(日) 入学式終了後
【場所】千里山キャンパス 第1学舎1号館千里ホール
【講師】法学部 学部長 吉田栄司教授

大学で何をすべきか

【日時】4月5日(木) 9:00~10:30
【場所】千里山キャンパス 第1学舎1号館千里ホール
【講師】弁護士法人淀屋橋・山上合同 弁護士 中尾巧氏

文学部

メディアの時代の文学部

【日時】4月2日(月) 16:00~17:30
【場所】千里山キャンパス 第1学舎1号館千里ホール
【講師】アメリカ文学者 佐藤良明氏

経済学部

明日に向かってチャレンジ!

【日時】4月2日(月) 13:00~14:00
【場所】千里山キャンパス 第2学舎4号館BIGホール100
【講師】芦屋市議会議員 中島かおり氏

商学部

心の支えができるまで—世界、そして東日本大震災の現場から—

【日時】4月1日(日) 入学式終了後
【場所】千里山キャンパス 第2学舎4号館BIGホール100
【講師】フォトジャーナリスト 安田菜津紀氏

社会学部

大学で何を学ぶか

【日時】4月1日(日) 入学式終了後
【場所】千里山キャンパス 第3学舎
【講師】社会学専攻:片桐新自教授(A301教室)
心理学専攻:川崎友嗣教授(A201教室)
マス・コミュニケーション学専攻:
中部日本放送報道局 西田征弘氏(A101教室)
社会システムデザイン専攻:舟場拓司教授(D302教室)

政策創造学部

キャリアをデザインしよう!

【日時】4月3日(火) 13:00~14:00
【場所】千里山キャンパス 第1学舎5号館E401教室
【説明】キャリアセンター、エクステンション・リードセンター

外国語学部

スタディ・アブロード説明会:留学へ向けて

【日時】4月3日(火) 10:30~12:00
【場所】千里山キャンパス 第1学舎5号館E501教室
【講師】スタディ・アブロード委員長 菊地敦子教授
スタディ・アブロード支援センター長 吉田信介教授

人間健康学部

スポーツの知を考える

【日時】4月1日(日) 12:00~13:00
【場所】千里山キャンパス 第1学舎2号館B102教室
【講師】関西大学客員教授 神戸製鋼コベルコスティーラズ
GM兼総監督 平尾誠二氏

総合情報学部

サークル紹介(新入生歓迎ステージ、ガイダンスブース)

【日時】4月3日(火) 10:00~17:00
【場所】高槻キャンパス 中央広場モニュメント周辺、B棟、E棟、S棟

社会安全学部

東日本大震災を取材して~多様な視点で考える~

【日時】4月2日(月) 15:00~16:30
【場所】高槻ミュージックキャンパス西館 ミュージックホール
【講師】関西大学客員教授 NHK解説委員 山崎登氏

システム理工学部

環境都市工学部

化学生命工学部

「しくみづくり」、「まちづくり」、「ものづくり」を学ぶ

【日時】4月1日(日) 15:30~
【場所】千里山キャンパス 中央体育館
【講師】システム理工学部 学部長 前田裕教授
環境都市工学部 学部長 小田廣和教授
化学生命工学部 学部長 田村裕教授

関大トピックス

「関西大学Web Movie第2弾」が4月公開!

2011年に公開した第1弾の続編シリーズとして、第2弾では本学学生男女それぞれの1日を紹介します。今作も監督は、本学社会学部卒業生で日本を代表するCMディレクターの黒田秀樹さん。学生が関大で学ぶ姿を黒田監督独自の映像センスで紹介します。黒田監督自らが作詞を手がけたオリジナルテーマソング「関大のマーチ」にもご注目ください。

「関西大学Web Movie」は、関西大学ウェブサイトで見ることができます。メイキングレポートも公開中です。

<http://www.kansai-u.ac.jp/global/guide/bta2/index.html>



テーマソング収録の様子

「関西大学台湾オフィス」を開設

台湾における本学の拠点として、本学の情報発信を積極的に展開し、教育・研究・社会連携活動の紹介、留学生別科をはじめとする学生募集の広報、台湾在住の校友との交流などの業務を円滑に遂行するため、2012年4月に協定大学の正修科技大学内に「関西大学台湾オフィス」を設置しました。2011年10月に設置したタイの「バンコク・オフィス」に次ぐ4カ所目の海外拠点です。

KUBIC2012「学生の力」ビジネスプランを募集



商学部では、関西大学ビジネスプラン・コンペティションKUBIC2012「学生の力」を開催します。自由な発想で考えた独自のビジネスプランを応募する「自由応募部門」と、9社の協賛企業が提示したテーマをもとに考えたビジネスプランを応募する「テーマ部門」の2つの応募部門を設け、全国の大学生・大学院生・高校生・高等専門学校生・一般の方を対象に、新事業（起業ベンチャー・社内ベンチャー）のビジネスプランを募集します。

書類選考（予選）と、2012年10月6日（土）の公開プレゼンテーション審査会（本選）を経て、優勝・準優勝をはじめ各賞が決定されます。応募方法など詳細は、KUBICウェブサイトをご確認ください。
<http://www.kubic-kandai.com/>

募集期間

2012年4月2日（月）～6月15日（金）必着

問い合わせ先

関西大学商学部 KUBIC事務局
E-mail: kubic-ku@cm.kansai-u.ac.jp
電話: 06-6368-1147

関西大学学生チーム「漢舞」が第4回JTBタイYOSAKOIフェスティバルに出場

3月3日と4日にタイ・バンコクで開催された第4回JTBタイYOSAKOIフェスティバルに、よさこいサークルの関西大学学生チーム「漢舞」が出場しました。このYOSAKOIフェスティバルは、日本・タイの友好交流記念公演として2009年から開催されている行事です。

関大の 学生スタッフなど募集のお知らせ

ピア・コミュニティ

学生が学生を支援する「ピア・サポート活動」を、教職員のバックアップのもと実践する小集団で、現在8つのコミュニティがあります。活動を通して、企画力や実行力、そして仲間と一緒に何かを達成する喜びを感じてみませんか?

募集期間	随時
応募方法	ボランティア活動支援グループまで問い合わせ
問い合わせ先	ボランティア活動支援グループ volunteer@ml.kandai.jp

ボランティアセンター学生スタッフ

「ボランティアセンター職員と共にセンターの運営事業に携わり、学生目線から学生のボランティア参加のきっかけ作りを行う」という理念のもと活動する団体です。私たちと一緒に、ボランティア活動の魅力を伝えてみませんか?

募集期間	随時
応募方法	ボランティア活動支援グループまで問い合わせ
問い合わせ先	ボランティア活動支援グループ volunteer@ml.kandai.jp

入試広報スタッフ

高校生・保護者の大学見学時の対応（キャンパス案内など）、オープンキャンパス実施運営、入試広報冊子への取材協力などを通して、関西大学の魅力を受験生に広報してみませんか?

募集期間	4月上旬～5月上旬
応募方法	4月上旬にインフォメーションシステムに募集案内を掲載
問い合わせ先	入試センター入試広報グループ nyushikoho@ml.kandai.jp

アスレティックトレーナー (AT)

体育会所属選手に対するスポーツ傷害の応急処置・テーピング・ストレッチ・リハビリ補助を行い、各部の練習・試合でのサポートもしています。4月18日（水）・26日（木）に入部説明会を開催しますので、興味のある方はご連絡ください。

募集期間	体験入部募集 4月1日（日）～4月30日（月）
応募方法	ATルームまで問い合わせ
問い合わせ先	ATルーム kaisers_kuat@yahoo.co.jp 06-6368-1111（内線4685） 平日11:00～19:00

学生広報スタッフ

主な活動内容は、この「関西大学通信」の企画考案、会議への参加、取材や原稿執筆など。その他大学広報活動のお手伝いもしてもらいます。関西大学のPR活動に興味のある方は、お気軽にご連絡ください。

募集期間	随時
応募方法	広報課まで問い合わせ
問い合わせ先	広報課 tsushin@ml.kandai.jp

他にも、関西大学では、学内のさまざまなところで学生が活躍しています。
●授業支援SA（スチューデントアシスタント）、SA、TA
●障がいのある学生に対する修学支援スタッフ
●ITセンター利用相談員、MMLスタッフ、尚文館マルチメディアスタッフ
●キャリアセンター学生スタッフ など
募集告知は、インフォメーションシステム「お知らせ」や学内掲示ポスターなどでお知らせしますのでご確認ください。

関大人 四方山話 ◆ TOBACCONOMIC POLICY! 学長補佐 本西 泰三 教授（経済学部）



「タバコのポイ捨てが逆に増えるのでは?」「火災が発生するかも」。
担当教員としてキャンパスの分煙化（屋外指定喫煙所以外全面禁煙）に取り組んだのですが、反対も非常に強く、苦労の連続でした。大学構成員の多くは分煙化に賛成ですが、なかなか声を上げてくれません。高い地位にある人が既得権に固執しているように思われる場面もありました。実際には分煙化でポイ捨てと火災の危険性は大幅に減りました。私の専門は経済政策ですが、こうした理不尽

さは国や自治体の政策担当者が直面するそれと全く同じであり、私自身得難い経験になったと思っています。学生の皆さんもこの問題に関心を持てば、経済政策の授業を受けるよりもずっと勉強になるはずです。

いまだに指定喫煙所以外のルール違反灰皿が残っているのは残念ですが、今後は関西大学の良心が試されていると思います。政策だけでは社会を改善できないことを示す、良い例になっているといえるのではないのでしょうか。

編集後記

「今月のシंकさんアクトくん」に登場した、鈴江祐果さんの取材に同行しました。阿波おどり関西大学連の活動は主に夏が中心となるので、夏以外の期間はどのような活動をしているのだろうと思い、質問すると「ストリートダンスサークルにも所属しています」と驚くべき回答が。また自らを「踊りの血が流れている」と表現するなど、踊りを通して一年中、充実した大学生活を送っている様子が感じられました。これからも鈴江さんのような熱中関大生を紹介していきます。（学生広報スタッフ・2012年3月総合情報学部卒業 菅原直亮）

今月の表紙：井上大海さん（経4）、金丸由季さん（文3）、川田大介さん（社4）、木村菜摘さん（政策3）、雲村早紀さん（文3）、栗田真衣さん（文3）、五ノ井祐太さん（シス理4）、高階大貴さん（安全2）、都井萌さん（法2）、長島昂輝さん（経4）、仲埜成雄さん（シス理3）、中村昂二郎さん（経2）、東優希さん（文3）、前田二葉さん（法2）、増田伊千花さん（政策2）、松谷昌俊さん（経4）、吉澤維花さん（政策2）